

令和7年度 神栖市若手医師きらっせプロジェクト
地域医療トーク&トーク
『 開 催 報 告 』

1 日 時

令和7年7月6日(日) 14:00~17:00

2 場 所

かみす防災アリーナ 大会議室

3 参加者

36人(学生10人、市民10人、医師10人、医療スタッフ4人、神栖市2人)

4 概 要

令和6年10月の地域医療シンポジウムにおける神栖宣言を踏まえ、神栖市若手医師きらっせプロジェクトの一環として、地域の様々な主体が互いに尊重し合い、それぞれの思いに触れることを目的とする「地域医療トーク&トーク」を開催。神栖市民、全国から訪れる学生、きらっせプロジェクト推進会議委員等が参加し、グループディスカッションの後に、全体での意見交換を行った。

5 内 容

(1)グループディスカッション

テーマ1 ACP(人生会議)について

テーマ2 産業都市に求められる医療について

(2)グループディスカッションの発表

○主な意見

「テーマ1 ACP(人生会議)について」

- ・当人の価値観を理解していない状態で、家族に決定を迫るのは酷なこと
- ・家族で意見をまとめるのは難しい。気持ちの変化はある。何度も話すことが大切
- ・ACPがないと、患者より家族が後悔する可能性が高いのでは
- ・臨床現場でもACPについては勉強不足。ACPの文化を創っていくことが大切
- ・議論する場を持ち、身近な人の価値観を理解しておくことは重要

「テーマ2 産業都市に求められる医療について」

- ・「24時間の救急医療体制」や「産婦人科」の充足が必要
- ・救急医療体制の整備が必要（遠くに運ばれるものという感覚を持っている）
- ・労災に対応できる体制づくりや、外国人労働者への特徴的な医療に対応できる連携体制の促進が必要
- ・小児医療に力を入れる必要がある
- ・市民は健康意識を高め、医療者は適切な情報発信で市民を安心させることにより、医療体制の充実に貢献できると思う

(3) 全体意見交換

○主な意見

- ・ACP は変わることが前提ということを、我々医療者側ももっと認識する必要がある。
- ・ACP の理解や患者さんの意思について、日々コミュニケーションを取ったり、勉強していくことが重要だと感じた
- ・ACP は主治医も関わって話をしていくことが大切
- ・ACP は人生会議とも呼ばれているが、「会議」ではなく「生き方や考え方に関わる話」と認識した方が身近に感じることができると思う
- ・産業都市の医療体制として、病院側もシフト制で24時間365日対応できることが望ましいが、中々難しい問題。ただ、医療体制の課題を皆さんと共有することで、今後の対応や結果は変わってくると思う

(4) 交流会

様々な立場の皆さんが、それぞれの立場における現状や思いを話すなどして親睦を深めた。

6. 参加された方のご意見・ご感想

(1) 意見交換してみてもの感想

「テーマ1 ACP(人生会議)について」

学生	様々な立場、年代、職種の方と意見交換をしたことで ACP について多角的な視点で考えることができた。また、ACP をしたことがある人、ない人どちらの立場の人の意見も聞き、そのメリットや注意点についても理解が深まった。 ACP についての話題は医療に関連する職種の人と話すことが多く、今回のように一般市民の方の目線での捉え方も知ることができたのはとても貴重だった。今後医療の場面で関わる際には、無意識に ACP への理解度や考え方を押し付けず、相手(患者さん)の立場を理解しようとする姿勢を忘れずにいたいと思った。
市民	今まで、ACP という難しいイメージが強かったが、今回の会を通して、もしもの時自分の望む生き方、それを支える医療等について家族と ACP をすることの必要性をすごく実感した。
医師	医師として色々考えさせられ、良い機会でした。学生、市民の率直な意見が貴重でした。
医療スタッフ	市民の皆さまからは、総じて「必要性を感じている」という考えをお聞きしました。医療提供側もそれに応じられる体制づくりが必要だと感じました。

「テーマ2 産業都市に求められる医療について」

学生	それぞれ異なる立場から問題を考えることができ、自分とは違う視点を得ることができて勉強になった。どんな立場でも医療体制の充実に貢献することができると学んだ。
市民	改めて神栖市には医師が不足している事を知った。神栖市内での初期対応をしていただける病院が増える事を願います。
医師	もっと根本的に今後の医療構想を市全体として宣言できるような企画が今後あるといいですね。
医療スタッフ	今ある資源の中でも、できることを模索したい。

(2) 参加してみての感想

学生	医療者という現場の声、市民という受け取り側の声、医療系学生という外部から客観的に見た声が聞けて、今回のイベントでしか得られない学びがあった。地域問題を考えるには、市民の声が必要不可欠だと思った。
市民	今後も市民の意見が発表できる場を増やしていただけると幸いです。
医師	市民との協働の重要性を感じました
医療スタッフ	市民の方からの意見をとおして、現在の医療体制(病院に対する)への評価をお聞き出来ました。 医師招聘は変わらない課題ですが、今ある資源の中で情報発信なども含め、できることがないか再検討したいと思います。

7. 当日の様子

